

## 2) J Aみやぎ仙南青年部と目黒区立緑ヶ丘小学校による 地域間交流をふまえた子どもたちの農業・農村体験

### ◆活動主体について

平成10年に7つのJ Aが合併し誕生したJ Aみやぎ仙南は、宮城県南部に位置し、西は山形県、南は福島県に接した2市7町(角田市、白石市、七ヶ宿町、柴田町、大河原町、柴田町、川崎町、蔵王町、丸森町)からなる。奥羽山脈に連なる丘陵地帯、阿武隈川や白石川流域に形成される盆地を含むJ A管内では地域による気候差を活用しリレー方式で多種多様な作目を産出している。

活動はJ Aみやぎ仙南青年部角田支部を中心とし、後述の「あぶくま農学校」については地元角田市農業振興公社と共催、地元の北郷小学校、目黒区立緑ヶ丘小学校をはじめとする目黒区教育委員会を交流相手として、実施がなされている。

### ◆取り組みの経緯

J Aみやぎ仙南の前身となる旧角田市農協・青年部が平成元年に角田市と友好都市の関係にある東京都目黒区全22小学校にプランター・田んぼの土・稲の苗をプレゼントしたのを契機にスタート。平成2年より青年部員が目黒区の小学校に稲作指導(ボランティア)に訪れ、毎年、目黒区の小中学生15人ほどを農家(青年部員宅)でのホームステイとして受け入れている。

平成11年からは、「先生バージョン」と称し、角田における教師版ホームステイが2泊3日でスタートし、目黒区の都会育ちの先生たちが自ら農業体験を行った。

平成12年からは、角田市農業振興公社が窓口となり「あぶくま農学校」として、目黒区緑ヶ丘小学校の5年生(「総合的な学習の時間」)を春と秋に2泊3日の農業体験に迎え入れる取り組みを実施。双方が行き来する関係となり、緑ヶ丘小学校と角田市・J Aみやぎ仙南の関係が一層、深いものとなった。

平成14年度には、目黒区内小中学校全34校の学校給食米80トンのうち、20トン強が目黒区のお米屋さんを通して角田から仕入れられるようになった。

## ◆活動の概要

### ①目黒区小学校での稲作指導

平成2年スタートの旧角田市農協（現JAみやぎ仙南）青年部員による目黒区小学校5年生を対象にした稲作指導（対象校は目黒区教育委員会が募集・選定）は、1年のうち、5月（田植え）・7月（中間の作業）・10月（稲刈り）と年3回程度の頻度で行っている。田植え、稲刈り等を通して、農村（角田）とはどんなところか、米について、現在行われている米づくりについて、自らの言葉で、小学生と話をし、子どもたちの質問に応え、感想を尋ねる。

バケツや発砲スチロールの田んぼでは米づくりにならないと感じたことから、学校と協議し、校内の砂場や花壇を活用した田んぼづくりも行った。

### ②目黒区の子どもたちを対象とした農村体験交流

同じく、平成2年から目黒区の事業「青少年交流事業」により、目黒区の小中学生（小学校5年生以上中学3年生まで）15人程度を夏休みに、農家（青年部員宅）でのホームステイ（3泊4日）として受け入れている。日程・受け入れについては、青年部が企画・立案し、青年部事務局と目黒区青少年プラザ（青少年委員）を双方の窓口とした調整を行っている。

農家で農作業体験を行うことはもとより、角田の農村を肌で感じ、村の子どもたちと一緒に農家の生活を体験する。農業関係施設（農業納豆センター、米の倉庫、排水機場など）も見学、農業・農村を身近に感じてもらう。

### ③目黒区農業体験交流（先生バージョン）

目黒区小学校の稲作指導を通し、子どもたちにもっと地域（角田）を、農業や米を理解してもらいたい思いが強まった。そのためには、指導者である先生に角田に来てもらい、実際に目で見て、肌で感じ取ってもらい、それを子どもたちに話してもらうことが必要と考え、平成11年から夏休みに3泊4日で、目黒区小学校の先生を対象に教師による農業・農村体験を実施した。目黒区教育委員会と目黒区校長会を通じて参加する先生を募集。決定後は、直接参加者の先生と青年部が連絡を取りあう。

活動内容としては、青年部員の家ホームステイし、主に農作業の体験。青年部員の指導でトラクターの耕耘、管理機による豆の中耕培土体験を行ったり、青年部員との交流会を実施。

#### ④目黒区立緑ヶ丘小学校総合学習農業体験交流「あぶくま農学校」

「総合的な学習の時間」が全国の小中学校で本格的に導入された平成12年度より、緑ヶ丘小学校の5年生を春と秋の年2回、各2泊3日で角田に来てもらい、農業・農村体験を行う取り組みがはじまった。田植え、稲刈りといった断片的な活動で終始せず、米づくりの全体のプロセスにふれる体系的な活動となるよう意図している。収穫した米は、緑ヶ丘小学校の学校給食に活用している。

#### ◆成果と今後の課題

J Aみやぎ仙南青年部では、取り組みの成果と今後の展開を次のように示している。

##### 〔取り組みの成果〕

#### ◆ 角田のみんなが知っている交流活動になった

11年間の活動は延べ155人もの青年部員が目黒区を訪れ、延べ150人もの目黒区の子どもたちや先生が角田を訪れました。この交流の内容は青年部の機関誌「青年部だより」によって青年部員のみならず、組合員全員に報じています。11年の歳月は、角田の人たちに対して、目黒区、そしてその交流の大切さを身近なものにしました。

#### ◆ 稲作指導は私たち自身の教育啓発研修

青年部は30代が中心で部員の多くは、小中学生の親でもあります。目黒区との交流は、小学校を見て、また目黒区の子どもたちと接することによって、自分たちの子どもたちへの教育に対して考えさせる機会を与えてくれました。また後継者でもある私たち自身も米づくりに対する姿勢を再認識できるよい機会になっています。

◆ 角田市農業振興公社の主要事業の一つである「あぶくま農学校」に大きく発展した

角田では、今年の春「角田市農業振興公社」が発足しました。私たちの目黒区交流は、その意義と効果、発展性を評価され、体験的に交流事業の一つとして位置づけられています。

◆ JAみやぎ仙南青年部の野立て看板が目黒区の小学校に設置された

交流活動を通じて、農政運動の一つである私たちのメッセージキャンパス「野立て看板」は、平成9年から目黒区の米屋と小学校に掲げました。角田を訪れた人たち、私たちが小学校で会った子どもたちにとどまらず、多様な交流に広がっています。

◆ 目黒区・角田市の子どもたち相互の交流に発展

目黒区の子どもたちの農村交流体験の中から一方通行ではなく、私たちの角田の子どもたちが目黒区を訪ね、都会の生活を体験することも大切と考え、平成9年の春から実施されています。都会の生活の体験は、大変好評で希望者も多く、抽選で参加者を決定している状況です。小学生を対象とした農業・農村体験は、都会の子どもたちを対象とするだけでなく、他地域の子どもたちとの交流を体験メニューに加えながら、角田の子どもたちを対象とした農業体験への発展がなされました。

〔今後の展開〕

厳しい環境下におかれている農業・農村・米づくりの良き理解者、応援団を少しでも増やすことが必要となっており、交流活動はそうした観点からも非常に重要である。平成2年にスタートした活動は、着実な積み重ねを行ってきたが、今後、経済活動をも含めた体系的な交流活動への展開を考えている。

今後、青年部活動として閉じたものとせず、商工会青年部や農業振興公社など他組織と連携・協力しながら、交流活動に取り組んでいきたい。また、ホ

ームページの開設などで、リアルタイムな地域（角田）の現状を目黒区の小学校に情報発信するなど、さらなる交流を深めたい。

資料1：「あぶくま農学校」活動概要（保護者への説明資料）

<保護者への説明資料>

平成12年度 角田農業体験学習

1. 目的

- (1) 総合的な学習の現地学習を行い、校内で得た知識や理解を拡充し深化する。
- (2) 自然の風物に接することによって、自然を愛護する心情を養う。
- (3) 集団生活の中で、係活動や役割分担を通じて集団への協力・奉仕を積極的に行わせ、調和のとれた人格形成と生活態度を養う。
- (4) 規則正しい集団生活や自然の中での生活を通じて、健康、安全についての関心と習慣を養う。
- (5) 教師と児童、児童相互が寝食を共にすることを通して心の交流を図り、楽しい思い出を残し、今後の学校生活の充実と健全で好ましい人間関係の深まりを図る。

2. 期間

春 平成12年5月18日（木）～5月20日（土）

秋 平成12年9月28日（木）～9月30日（土）

3. 場所

宮城県角田市枝野字青木55-20 農村環境改善センター ・0224-63-3440

4. 経費

<春>

- ・施設使用料 520×2=1040円
- ・寝具 1300円
- ・食費（朝、昼、夕各2、おやつ他）5000円

<秋>

- ・食材料費
- ・シンケンファクトリー
- ・ソーセージ作り
- ・施設使用料 520×2=1040円
- ・寝具 1300円

} 5000円

春、秋それぞれ

合計7340円

\*2日分の給食費は後日返金となります。

5. 輸送

全行程 貸切バス1台

6. 参加児童

男子 19名 女子 18名 合計 37名

7. 引率者

校長先生、担任先生、他2名

8. 出発までにしておくこと

- (1) 保険証写しの提出 5月15日（月） 2枚になるときは張りつけて1枚し、封筒に入れ、記名して提出する。
- (2) 事前健康診断 5月17日（水） 1:30～
- (3) 健康カード記入 5月11日（木）～

資料2：「あぶくま農学校」活動日程・春（平成12年度）

角田農業体験実習・春 日程

5月18日（木）	5月19日（金）	5月20日（土）
6：45 学校集合	6：00 起床	6：00 起床
6：50 出発式	6：30 朝会	6：30 朝会
7：00 学校発	7：00 朝食（自炊） 昼食準備	7：00 朝食（自炊）
〈休憩〉 ・羽生SA ・那須高原SA	（おにぎり）	8：20 お別れ会
11：30 国見SA着 昼食	8：30 宿舍発	8：30 宿舍発 ・施設農業見学（ト マト）
12：10 国見SA発	8：40 揚水機場見学	・イチゴ狩り
13：30 宿舍着 ・荷物整理	9：30 農業体験 ・田植えの準備 ↓	11：00 角田発
14：00 阿武隈農学校 開会式	・田植え（一斉） ・機械植え見学 ↓	12：20 国見SA着 昼食 国見SA発
15：00 四方山登山 （雨天 トマト栽培ハウ ス見学）	・昼食 ↓	〈休憩〉 ・那須高原SA ・羽生SA
18：00 シンケンファ クトリー 夕食	・田植え	18：00 学校着 帰校式
19：30 宿舍着	14：00 農業体験終了	18：15 解散
20：00 入浴	15：00 宿舍着 入浴	
21：00 就寝準備 消灯	17：00 早苗振り （餅つき） 夕食 （交流会）	
	19：30 勉強会	
	21：00 就寝準備 消灯	

資料3 : 「あぶくま農学校」活動日程・秋（平成12年度）

角田農業体験実習・秋 日程

9月28日（木）	9月29日（金）	9月30日（土）
6:45 学校集合	6:00 起床	6:00 起床
6:50 出発式	6:30 朝食、昼食準備	6:30 宿舎発
7:00 学校発	7:00 朝食	7:00 搾乳体験
（休憩）	8:15 宿舎発	8:00 宿舎着 朝食
・羽生SA	8:30 枝野小学校着	9:00 修了式
・那須高原SA	・交流会	9:30 宿舎発
11:30 国見SA着 昼食	9:30 枝野小学校発	・乾燥、調整見学
12:10 国見SA発	10:00 農業体験	・おみやげ（お米）
14:00 宿舎着	・稲刈り（手刈り）	11:00 角田発
・荷物整理	↓	12:20 国見SA着 昼食
14:30 開会式	・昼食	国見SA発
15:00 シンケンファ クトリー	↓	（休憩）
・工場見学	・稲刈り（手刈り）	・那須高原SA
・ソーセージ作り	15:00 農業体験終了	・羽生SA
17:00 夕食	16:00 宿舎着 入浴	18:00 学校着 帰校式
18:00 宿舎着	17:00 感謝祭準備 （カレーライス）	18:15 解散
18:15 稲刈り勉強会	夕食 （交流会）	
19:15 入浴	19:30 勉強会	
21:00 就寝準備 消灯	21:00 就寝準備 消灯	



資料4：平成14年角田市農作業体験交流・先生バージョン開催内容

1. 実施月日 平成14年9月20(金)・21(土)・22(日) 2泊3日
2. 実施場所 宮城県角田市
3. 交通手段 目黒区バス
4. 参加予定者 目黒区先生・目黒区PTA・青年部(顧問・三役・支部長・受入農家)  
角田市・その他関係者 計15人

※1農家につき、先生2名を受け入れる

日 程

9月20日(金)	9月21日(土)	9月22日(日)
7:00 東京発	宿泊先で農作業体験 ※各農家ごとに活動。 地元北郷小学校の担任も 参加予定	7:30 朝食(改善センター) 9:00 ライスセンター 10:00 11:00 11:30 角田発(車内昼食)
13:00 高蔵寺 14:30 北郷小学校訪問 15:30 総合学習田見学 16:30 四方山 17:30 改善センター着 豆腐作り 18:30 ホトとの対面 19:30 農家宅(夕食)	18:30 交流会シンケンファクトリー	
各農家へ宿泊	改善センター集合泊	

- ・会場手配(改善センター・納豆工場・北郷小・高蔵寺・シンケンファクトリー・ふれあいセンター・ライスセンター)
- ・参加者確認、民泊農家設定
- ・食事の手配

資料5：JAみやぎ仙南青年部による稲作指導資料（平成14年度）

1. 田植え指導の期日 平成14年5月24日（金）

（稲の配布は平成14年5月22日（水）の午後）

2. 当日の移動予定

車両	1号車	2号車	3号車
指導員	1班 村山さん 安藤さん 他1名	2班 森谷さん 加藤さん 他1名	3班 星さん 馬場さん
指導対象校	午前 中目黒小学校 午後 月光原小学校	午前 向原小学校 午後 油面小学校	午前 不動小学校 午後 緑が丘小学校
10:00 区役所到着（角田市から）			
	10:10 区役所出発   10:30 中目黒小到着   (稲作指導=田植え)   (昼食(給食))   13:05 中目黒小出発   13:20 月光原小到着   (稲作指導=田植え)   15:20 月原小出発   15:35 緑が丘小到着	10:10 区役所出発   10:30 向原小到着   (稲作指導=田植え)   (昼食(給食))   13:05 向原小出発   13:20 油面小到着   (稲作指導=田植え)   15:20 油面小出発   15:35 緑が丘小到着	10:10 区役所出発   10:30 不動小到着   (稲作指導=田植え)   (昼食(給食))   13:05 不動小出発   13:20 緑が丘小到着   (稲作指導の打合せ)
16:00 以降緑が丘小出発（角田市へ）			

注 車は、各学校に送り届けた後に、いったん区役所に戻ることを原則とします。

この場合、次の移動予定時刻の20分前には学校に戻る（到着している）ようにしてください。

資料6：JAみやぎ仙南青年部による稲作指導対象校と指導希望内容

(平成14年度)

1. 田植え指導希望校

学校名	たんぼ・プランターなどの状況	作付け面積
中目黒小学校	たんぼ 2.6m×5m 【コメント】稲刈り指導は希望しない。	13.0㎡
向原小学校	たんぼ 1m×1m 【コメント】指導日が運動会の前日のため、リハーサルや前日準備があるので、朝一番の時間帯を希望する。	1.0㎡
月光原小学校	たんぼ 8m×1.3m プランター等 70cm×50cm×50個 【質問】・水の管理について(稲穂の育ち具合でいつ頃まで水が必要か) ・肥料を与える時期・種類・量 ・鳥に対しての対策	27.9㎡
不動小学校	たんぼ 5.3m×2m 【コメント】昨年度は実践しておらず、土を大幅に入れ替える予定。ドボブと一緒に大改装され、たんぼの面積も増えた。	10.6㎡
計		52.5㎡

2. 稲刈り希望校(稲の苗も)

学校名	たんぼ・プランターなどの状況	作付け面積
油面小学校	たんぼ 2m×8m 【コメント】指導日(5月24日)が油面小の開校記念日のため、今回はやむなく苗と稲刈り指導のみを希望する。	16.0㎡
計		16.0㎡

3. 稲の苗のみ希望校

学校名	たんぼ・プランターなどの状況	作付け面積
菅刈小学校	バケツ 直径30cm×8個	0.5㎡
下目黒小学校	たんぼ 3m×6m	18.0㎡
碑小学校	プランター等 20cm×60cm×12個	1.4㎡
鳥森小学校	バケツ 直径30cm×55個	3.8㎡
田道小学校	たんぼ 3m×1m 【コメント】稲に関する資料、育てるコツなど。	3㎡
原町小学校	バケツ 直径30cm×44個	3.1㎡
東山小学校(追加)	プランター等 1.5m×3m	4.5㎡
計		34.3㎡

合計	102.8㎡
----	--------

資料7：あぶくま農学校における活動風景



資料8：JAみやぎ仙南青年部による目黒区小学校の稲作指導

